

海外  
論文 &  
レポート

日本労働者協同組合連合会  
第25回定期全国総会への  
海外からのメッセージ

ICA (国際協同組合同盟)

2004年6月、ジュネーブ

私は、日本労働者協同組合連合会第25回総会と第19回センター事業団総代会に、祝辞を送ることをたいへん幸運に思っています。

私たちは、長年ICAのメンバーとしての皆様方の参加を高く評価しています。実際、市場のグローバル化が席捲しているのように見える時に、日本の協同組合運動は国際運動に対して継続的な関与と誠実さのすばらしい実例となっています。

私たちICAはグローバル化を好機と見なし脅威とは考えていません。ICAはグローバルな組織として、組合員の利益を最大化することが業務であり、協同組合の価値と原則は他の形の企業を超えて私たちに本当の優位性を与えています。

皆様方の自身の課題は、私たちの思いを代表しています。ICA2004年の優先テーマは、私たちの発展の役割促進であり、私たちは今年貧困に対抗する運動を開始いたしました。

また、協同組合運動における法制化の重要性を認識し、諮問グループの役割を拡充しています。そして、CICOPAのような分野別組織の役割を強調し、大きな協同組合の仲間の一員の中でもより近い組織として位置づけています。

こうしたことすべては、技術時代における絶対不可欠なコミュニケーション・システムの改革を重要視しています。私たちは、ICA「ウィークリー・ダイジェスト」が、会員が必要とする正規情報を提供することをめざしています。最後に、分野別の仲間たちに加えて、私たちの主要な仕事となるべきウェブサイトの改良は間もなく始まります。私たちの主な仕事の特色は分野の仲間の要請にそってすすめるべきだと考えています。

この機会を与えてくださったことに改めて御礼を申し上げ、皆様方の2004年年次総会と協同が発展することを期待しています。

ICA 会長  
イバーノ バルベリーニ